

CNA レポート・ジャパン

Conferencing News & Analysis, Report on Japan market - CNAReportJapan

創刊：1999年12月
発行日：毎月15日・月末
PDFによる発行

テレビ会議・ウェブ会議・電話会議システム市場専門トレンドワッチ

Vol. 18 No.3 2016年2月15日

製品・サービス動向-国内

■NEC ネットエスアイ：仮想会議室ソリューション「Pexip Infinity」の国内販売を開始

(2月8日)

NEC ネットエスアイ株式会社 (<http://www.nesic.co.jp/>) (東京都文京区) は、Pexip 社 (ノルウェー) の仮想会議室ソリューション「Pexip Infinity (ペクシップ・インフィニティ)」の国内販売を開始する。

<異なるシステムの相互接続を行う仕組み>



Pexip Infinity の特徴 (NEC ネットエスアイ)

Pexip Infinity は、混在するテレビ会議システムや映像ソリューションの最適化を実現し、異なるハードウェアベースのテレビ会議システム間を相互接続するのみならず、多種多様なデバイス (マルチデバイス対応)、「Microsoft Skype for Business」などの UC ツールとの接続を可能とする、ソフトウェアベースの仮想会議コラボレーションツール。

また、Web ブラウザを利用した WebRTC にも対応しており、同社のセキュアな閉域網 MVNO サービス「ネットワイヤレス」と組み合わせることで、病院や介護事業をはじめとするセキュリティの担保が必要とされるさまざまな用途にも利用できるという。

さらに、従来のハードウェアベースで提供されてい

た多地点接続装置 (MCU) の機能をソフトウェアで提供しているため、仮想化技術と組み合わせることで高い拡張性を実現している。また、複数サーバに分散インストールすることも可能だ。これにより1つのサーバ設置サイトがシステムダウンしたとしても、テレビ会議のサービスが継続可能となっている。

Pexip Infinity は、異なるテレビ会議システム、マルチデバイス、Web ブラウザによる会議参加が可能な特徴を活かすことで、社内外問わず効率的なコミュニケーションを実現したり、災害など緊急性の高い会議 (BCP など) などに対応できるとともに、既存資産の有効活用も図ることも可能だ。



Pexip Infinity の活用シーン (NEC ネットエスアイ)

NEC ネットエスアイは、ICT を活用してユーザの働き方の効率性や生産性を高めるオフィス改革ソリューション「EmpoweredOffice」を提供している。Pexip Infinity は、EmpoweredOffice のコミュニケーションプラットフォームのひとつとして、テレビ会議、UC ツールなどの通信の融合や、社内・社外にとらわれない幅広いコミュニケーションを求めるユーザなどに提案を進め、3年累計で SI・保守などを含め 10 億円の売り上げを目指している。

なお、同社では、2月16日（火）に東京国際フォーラムで開催される「NEC ネットズエスアイ Customer's Fair 2016」においてPexip Infinityを展示する予定となっている。

■ポリコムジャパン：「Polycom RealPresence Debut」など3製品の日本発売を発表

（2月2日）

ポリコムジャパン株式会社 (<http://www.polycom.co.jp/>)（東京都新宿区）は、小規模なワークスペースでの使用に適した「Polycom RealPresence Debut」、タッチスクリーンデバイス「Polycom RealPresence Touch」、中規模会議室向けテレプレゼンスソリューション「Polycom RealPresence OTX Sutudio」の3製品の日本市場向けの販売を2月2日より開始する。



Polycom RealPresence Debut（ポリコムジャパン）



Debutの利用イメージ（ポリコムジャパン）

Polycom RealPresence Debut は、小規模なワークスペースでの使用に適したシンプルで洗練されたデザインのビデオ会議システム。フル HD 1080p に対応しているほか、会話以外のバックグラウンドノイズを低減する「Polycom NoiseBlock」技術、不安定なネットワーク環境でも鮮明かつ途切れないビデオ会議を実現する

「Polycom Lost Packet Recovery」技術などを搭載している。またコンテンツ共有も安全かつ簡単だ。

技術サポートを必要としない、コンパクトなデザインで細部までシンプルな設計。モニターの上に本体を置いてケーブル 2 本を接続するだけの簡単なセットアップですぐに遠隔地とのコミュニケーションを開始することができる。

Polycom RealPresence Touch は、シンプルで使いやすいデザインを特徴としたタッチスクリーンデバイス。

「Polycom RealPresence Group」シリーズなどのビデオ会議ソリューションのユーザが簡単にビデオ会議を開始できるようにするもの。



Polycom RealPresence Touch（ポリコムジャパン）

ユーザインターフェイスは、ビデオ会議専用端末、デスクトップ・モバイル用ソフトウェア、Web ブラウザベースのビデオ会議ソリューションを含むポリコムの製品群全体で統一したユーザインターフェイスを提供している。

高解像度のディスプレイをはじめ、簡単なナビゲーション機能およびメニューを搭載しているため、ユーザは直感的な操作で接続相手の選択、通話の発信、コンテンツの共有を行うことができる。

Polycom RealPresence OTX Studio は、中規模の会議室での利用に適したイマーシブテレプレゼンスソリューション。従来のビデオ会議システムと比較して大幅に進化した高品質な映像と音声をはじめ、柔軟性の高い双方向のコンテンツ共有を実現し、まるでテーブルの向かい側に座っている相手と会話しているかの

ように感じられる限りなくリアルに近い快適な環境を提供する。

以上、3製品は、ポリコム認定販売代理店を通じて2月2日より販売開始する。価格はすべてオープンとなっている。

■ ルーシッドの電話会議サービス

「bizspeak」：韓国、マレーシア、EU、中南米などの29か国のアクセスポイントを追加、サービス提供地域は49か国に拡大

(2月9日)

ルーシッド株式会社(東京都渋谷区)は、電話会議サービス「bizspeak」(<https://bizspeak.jp/>)に韓国、マレーシア、EU、中南米などの29か国のアクセスポイントを今回追加した。これにより、国際電話会議サービス提供地域は49か国に拡大した。

これにより、一例として、中国・香港・韓国・日本・アメリカ間の国際電話会議(1会議IDにつき最大20回線)が、「24時間プラン」で1,080円/会議ID/エリア、あるいは「30日間プラン」で1,620円/会議ID/エリアにて、期間内であれば国内通話料のみで何度でも利用できる。

Bizspeakは、初期費用・月額費用・会議利用料(従量制)が無料の電話会議サービス。メールアドレスの登録のみで、会議IDを即時発行可能。通話料のみでいつでも簡単に携帯電話や固定電話から電話会議を開催できる。また、予約電話会議サービスも提供している。

なお、上記24時間プランや30日プラン以外にも、1年プラン(16,200円)も提供している。国によってエリア区分がなされている。また、予約電話会議サービスについては、2時間10回線の予約電話会議。2,160円/会議～。日本国内、アメリカ、および全エリアのアクセス番号を利用可能。

ビジネス動向-国内

■ ブイキューブと日本マイクロソフト：「V-CUBE」と「Office365」の連携を発表、シングルサインオンや会議予約自動登録・Outlook連携でユーザの利便性向上

(取材：2月2日)



ブイキューブ 代表取締役社長 間下 直晃 氏(左)、
日本マイクロソフト 代表執行役 会長 樋口 泰行 氏(右)

株式会社ブイキューブ(<https://jp.vcube.com/>)(東京都目黒区)と日本マイクロソフト株式会社(<https://www.microsoft.com/ja-jp/>)(東京都港区)は、ワークスタイル変革を推進するため、両社のクラウドサービスを連携し、協業することを発表した。

今回発表された協業の骨子は2つ。(1)ブイキューブのビジュアルコミュニケーションサービス「V-CUBE」と日本マイクロソフトの「Office365」との連携ソリューションを開発、2月より提供開始する。

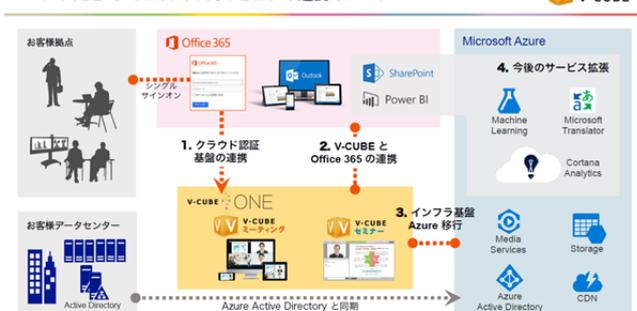
(2)このV-CUBEとOffice365の連携をシームレスにするため、ブイキューブは、これまでV-CUBEのシステムインフラであった「Amazon Web Service」から日本マイクロソフトのクラウドプラットフォーム「Microsoft Azure」へ移行する。V-CUBEの複数のサービスをひとつのシンプルなパッケージで利用できる「V-CUBE One」をAzureプライベートクラウド形態で提供する。

両社は、ワークスタイルの変革が、労働力の供給、

地方との距離、グローバルなどさまざまな問題を解決する上でカギとなると考えており、その中で、クラウドが大きな役割（クラウドファースト）を果たし、さらには、ビジュアルコミュニケーションがワークスタイル変革の核となるという認識を共有している。

しかし一方で、お互い遠隔コミュニケーションツールを提供しているという意味で競合するところもある。そういったところは、ワークスタイル変革について業界を挙げて進めていく必要があるという考えから、ユーザが求めるものであれば必要などころでは協業し、共にユーザに価値を提供していく意義があるとしている。

V-CUBE と Office 365、Azure の連携イメージ



連携イメージ（ブイキューブ）

さて、今回の連携により2つの機能が提供されることになる。一つ目は、Office365のIDひとつでV-CUBE Oneにログインできるシングルサインオン機能を提供すること。これは、Azure Active Directory(Azure AD)との連携でユーザ情報の同期が行えるため。ユーザにとって煩雑なID管理が軽減されるメリットがある。もう一つは、V-CUBE ミーティング/V-CUBE セミナーサービスのスケジュール予約にかかわること。ポイントは2つある。

スケジュール予約したものを Outlook カレンダーへ自動登録し参加者へメール通知をすることが可能になる。V-CUBE One からログインしそれぞれのサービスの会議/セミナー予約画面で予約を行うと、その情報が Outlook カレンダーへ予約登録され、登録者へメール

が通知されるようになっている。

「V-CUBE ミーティング Outlook アドイン」機能を提供する。アドインを使うことで、Outlook カレンダー上で、会議参加の予約が行えるとともに、参加者は Outlook カレンダーもしくはメールから会議に参加することが可能になる。ユーザはわざわざ V-CUBE ミーティングの予約画面にアクセスして会議登録をする作業が省ける利点がある。

今回発表された V-CUBE と Office365 の連携は、社内に Office 365 と V-CUBE ミーティング/V-CUBE セミナーを導入・利用（あるいは今後予定）しているユーザをターゲットとした便利な機能となる。ブイキューブによると、これらの機能は無償でユーザに配布している。

「Microsoft Office」は企業にとってデファクトという。ただし、この連携ソリューションは、適切な顧客ニーズの発掘やマッチングが不可欠だ。そこで、両社の製品・ソリューションに精通し、かつクラウドサービスの提供に注力しているソフトバンクコマース&サービス株式会社と戦略的に連携し、販売を開始する。ソフトバンクコマース&サービスでは、全国の販売パートナーとともに積極的に提案し、ワークスタイルの変革と業務の効率化に貢献したいと今回の発表に際してコメントを寄せている。

今後、ブイキューブでは、利用者の多いマイクロソフトの「Microsoft SharePoint」や「Microsoft Power BI」との連携を図りつつ、「Microsoft Translator」を利用した自動翻訳による多言語コミュニケーション、「Cortana Analytics Suite」で機械学習分野の技術を活用したソリューションの提供なども予定している。さらには、さまざまなデバイスに対応したサービスの提供に向けて、V-CUBE の Windows10 対応アプリケーションの開発や提供も進めていくとしている。

■VTV ジャパン：インターコール・ジャパンと販売代理店契約を締結、「Blue Jeans」などのサービスを提供開始

(2月9日)

インターコール・ジャパン株式会社 (<http://www.intercall.co.jp/>) (東京都港区) と VTV ジャパン株式会社 (<https://www.vtv.co.jp/>) (東京都千代田区) は、販売代理店契約を締結したと発表。

本契約により、VTV ジャパンでは、インターコールが提供するクラウド型テレビ会議サービス「Blue Jeans」、およびウェブキャストソリューション「Webcast Essentials」の販売が可能になった。

Blue Jeans は、クラウド型のテレビ会議サービス。シスコやポリコム、ライフサイズなど専用のテレビ会議端末に加え、主要なブラウザ、またはスマートフォン・タブレット、さらには「Skype for Business」、「Cisco Jabber」などインスタントメッセージを含む幅広いエンドポイントから接続することが可能となっている。相互接続に優れているため、さまざまな端末・アプリケーションを活用し、ビデオの送受信やコンテンツ共有を用いた遠隔コミュニケーションを実現するという。

インターコール・ジャパンは、電話・Web・テレビ会議などのコラボレーションソリューション、ウェブキャスト、Virtual Environment などのデジタルメディアプラットフォームを基盤とした幅広い UC ソリューションを提供している。少人数の会議から数千名におよぶ大規模なイベントまでニーズに細かく対応できることに特長がある。米国ネブラスカ州に本社を構え、日本、カナダ、メキシコ、中南米、イギリス、アイルランド、フランス、ドイツ、オーストラリア、ニュージーランド、中国、インド、香港、シンガポールに拠点をもちグローバルに展開している。West Unified Communications Services 社の日本法人。

VTV ジャパンは、国内初のテレビ会議システム専門の販売会社として 20 年以上の実績がある。マルチベ

ンダーとしてさまざまなシステムを取り扱ってきた経験から、販売だけでなく各メーカー製品の保守サービスや導入後の運用サービスもあわせて提供している。また、オンプレミスからクラウドへの移行についてもサポートが可能のため、インターコール製品の導入・連携におけるサポートが拡充される。

今後、VTV ジャパンは、Blue Jeans をはじめとするインターコールのコラボレーションツールを、より国内企業のニーズに合った形で幅広く紹介していくとしている。

ビジネス動向-海外

■Fuze 社：1 億 1,200 万ドルの資金調達を実施、グローバル事業や開発へ投資

(2月9日)

Fuze 社 (<https://www.fuze.com/>) (米国・マサチューセッツ州) は、1 億 1,200 万ドルの資金調達を実施したと発表。

今回の調達で得た資金は、事業のグローバル展開や開発などへ投資する。なお、設立からこれまでに調達した総額は 2 億ドルに達する。

Fuze 社は、クラウドベースのユニファイドコミュニケーションプラットフォームを提供している。2015 年 11 月に ThinkingPhones 社に買収され、両社は合併して Fuze という商号で存続している。本社はマサチューセッツ州ケンブリッジ。拠点はニューヨーク、サンフランシスコ、シアトル、オタワ、ロンドン、アムステルダム、アヴェイロ (ポルトガル)、パリ、チューリヒ、コペンハーゲン。年間の売上は対前年比 100% 増えており、175 の新たな顧客を獲得している。

出資は、Summit Partners、Bessemer Venture Partners(BVP)、Technology Crossover Ventures(TCV)などが引き受けた。なお、Summit Partners のマネージングディレクターの Bruce Evans

氏は Fuze 社の取締役会に就任。

PR

■株式会社日立ハイテクソリューションズ (テレビ会議ソリューション Acano)

<http://www.hitachi-hightech.com/hsl/products/ict/hightech-vision/acano.html/>

■ヤマハ株式会社

(USB スピーカーフォン FLX UC 500)

http://jp.yamaha.com/products/communication/revolabs/flx_uc_500/

セミナー・展示会情報

<国内>

■WebRTC Conference Japan

日時：2月16日(火)・17日(水)

会場：ソラシティ カンファレンスセンター 2F

主催：WebRTC Conference Japan 実行委員会

詳細・申込：<http://webrtcconference.jp/>

■ワークスタイル・イノベーション・カンファレンス 2016

日時：2月18日(木)

会場：ソラシティカンファレンスセンター (御茶ノ水)

主催：株式会社ナノオプト・メディア

詳細・申込：<http://www.f2ff.jp/wsi/2016/>

※パイオニア VC やデルタパスのセッションもあり。

■ワークスタイル変革 実践事例セミナー ～コミュニケーション・コラボレーション変革からはじめるワークスタイル変革～

日時：2月24日(水) 15:00～17:00 (14:30より受付開始)

会場：リコージャパン ViCreA 東京ショールーム (東京都中央区)

主催：リコージャパン株式会社

詳細・申込：<http://www.ricoh.co.jp/event/seminar/15S173.html>

■安定した映像・音声品質で、iPadでも快適！

Web 会議システム「IC3」事例と活用セミナー

日時：2月26日(金) 15:30～17:30 (受付：15:00)

会場：キヤノン IT ソリューションズ本社

(東京都品川区)

主催：キヤノン IT ソリューションズ株式会社

詳細・申込：<https://reg.canon-its.co.jp/public/seminar/view/330>

■アバイア・オフィス・モバイル・コラボレーションセミナー

日時：3月1日(火) 15:00～17:00 (受付：14:30)

会場：ベルサール八重洲 (東京都中央区)

主催：主催：シネックスインフォテック株式会社/日本アバイア株式会社

詳細・申込：http://sandi.jp/event/160301_avayaoffice_seminar.html

■アバイア・オフィス・モバイル・コラボレーションセミナー

日時：3月4日(金) 15:00～17:00 (受付：14:30)

会場：第2吉本ビルディング (大阪市北区)

主催：主催：シネックスインフォテック株式会社/日本アバイア株式会社

詳細・申込：http://sandi.jp/event/160304_avayaoffice_seminar.html

■V-CUBE Box を体験してみませんか？

日時：2月～6月 ※詳細日程は下記 URL。

会場：東京、名古屋、大阪

主催：株式会社ブイキューブ

詳細・申込：

https://jp.vcube.com/event/seminar/V-CUBE_BOX_2016.html

国内その他：<http://cnar.jp/cna/event-j.html>

海外その他：<http://cnar.jp/cna/event-r.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。

CNAR.jp サイトの情報もご参照ください。

業界の動き

この定期レポートの発行は月2回ですが、CNA レポート・ジャパンでは、業界の動きに関連した国内外の情報を日々配信・共有しています。よろしければご参照ください。

■フェイスブック（遠隔会議&UC トレンドワッチ）

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

■Twitter（CNA レポート・ジャパン）

<https://twitter.com/cnarjapan>

■メーリングリスト（dtc-forum）

<http://cnar.jp/cna/dtcforum-ml.html>

アーカイブ電子ブック版

>2003年-2013年：

http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/

>2014年-2016年：

http://www.catalog-square.co.jp/cna_ebook/

電子ブック制作：カタログスクウェア株式会社

<http://www.catalog-square.co.jp>

CNAレポート・ジャパン 2016年2月15日号おわり

ホームページ：<http://cnar.jp> お問い合わせ：cnar@cnar.jp